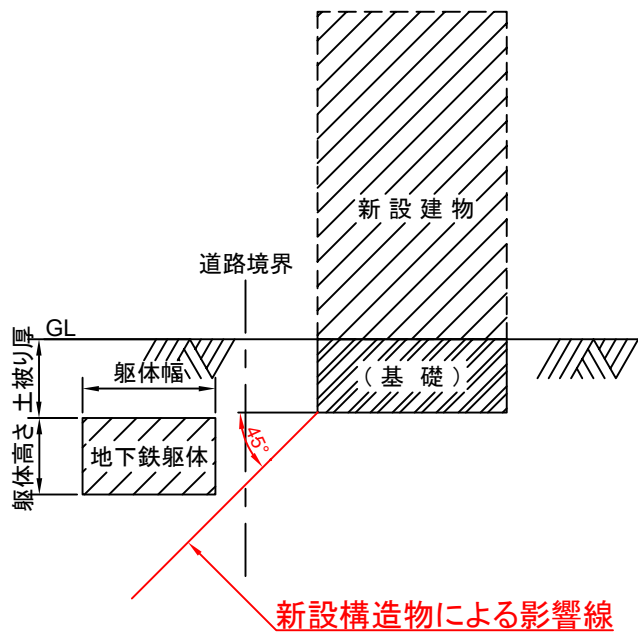


基礎構造別による建物の影響範囲について

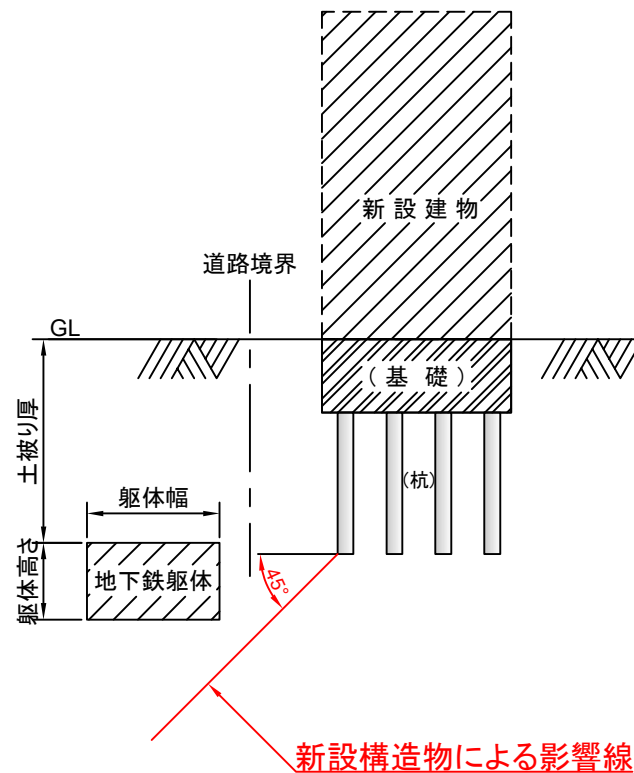
新設建物における基礎構造別の影響範囲は以下のとおりです。いずれの場合においても、新設建物による影響線が地下鉄躯体の下を通過すれば問題ありません。

直接基礎の場合



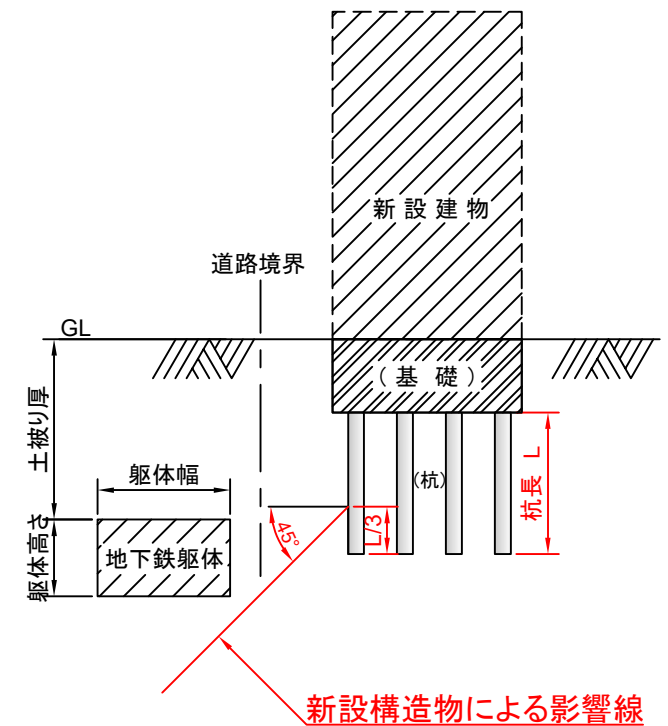
直接基礎の場合における影響線の始点は基礎最下端部から

杭基礎(先端支持)の場合



杭基礎(先端支持)の場合における影響線の始点は杭基礎先端部から

杭基礎(摩擦支持)の場合



杭基礎(摩擦支持)の場合における影響線の始点は杭長の1/3から